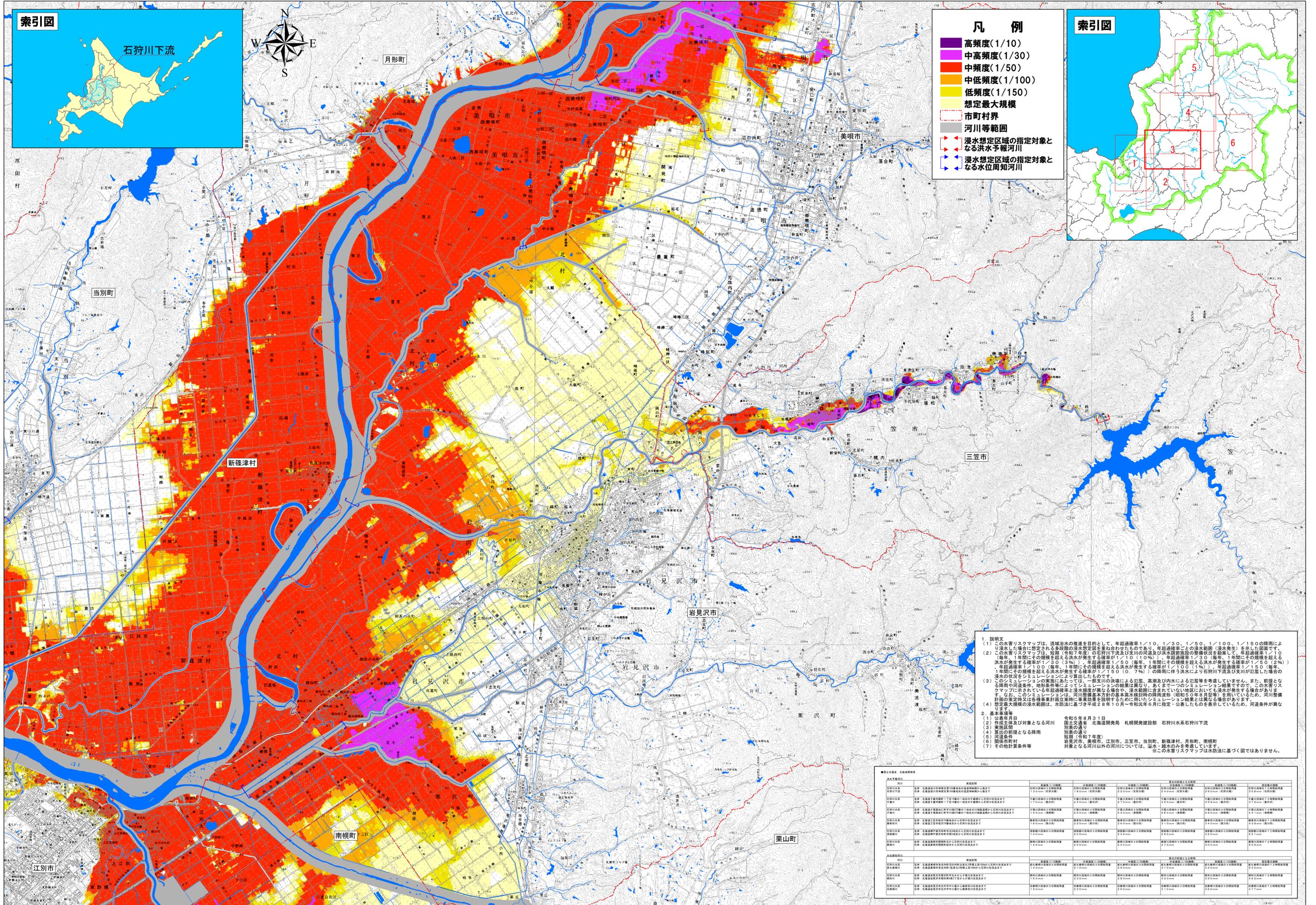


石狩川水系石狩川下流 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【短期河道】No3

浸水が想定される範囲を表示



凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 低頻度(1/150)
- 想定最大規模
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川
- 浸水想定区域の指定対象となる水位周知河川

1. 説明文
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を組み合わせ、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図です。
 (2) この水害リスクマップは、短期(令和7年度)の石狩川下流及び支川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により石狩川下流及び支川が氾濫した場合の浸水の状況シミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、一部支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河川条件、地盤条件等によってシミュレーションの結果は異なる場合があります。浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本基本設計の降雨条件(昭和5年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年10月～令和元年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和5年8月31日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 石狩川水系石狩川下流
 (3) 実施区域 別表の通り
 (4) 算出の前提となる降雨 短尺(令和7年度)
 (5) 河川条件 別表の通り
 (6) 関係市町村 岩見沢市、美幌市、江別市、三笠市、当別町、新篠津村、月形町、南幌町
 (7) その他計算条件等 別表の通り

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

河川名称	河川区間	浸水想定範囲(浸水発生)				
		高頻度(1/10)	中高頻度(1/30)	中頻度(1/50)	中低頻度(1/100)	低頻度(1/150)
石狩川	上流区間	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km
	中流区間	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km
	下流区間	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km
	河口区間	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km
	全長	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km
支川	支川1	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km
	支川2	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km
	支川3	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km
	支川4	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km
	支川5	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km	0.0km